

行政デジタル改革共創会議  
協賛企業様向け協賛依頼書  
(第1.2版 2024年10月11日更新)



BEYOND 2025

# 本資料の説明

# 本資料の説明

本資料は協賛企業様(スポンサー)に向けて発出する文書のうち、#1「協賛依頼書」に相当します。本資料を元に各企業様内での検討をお願いいたします。

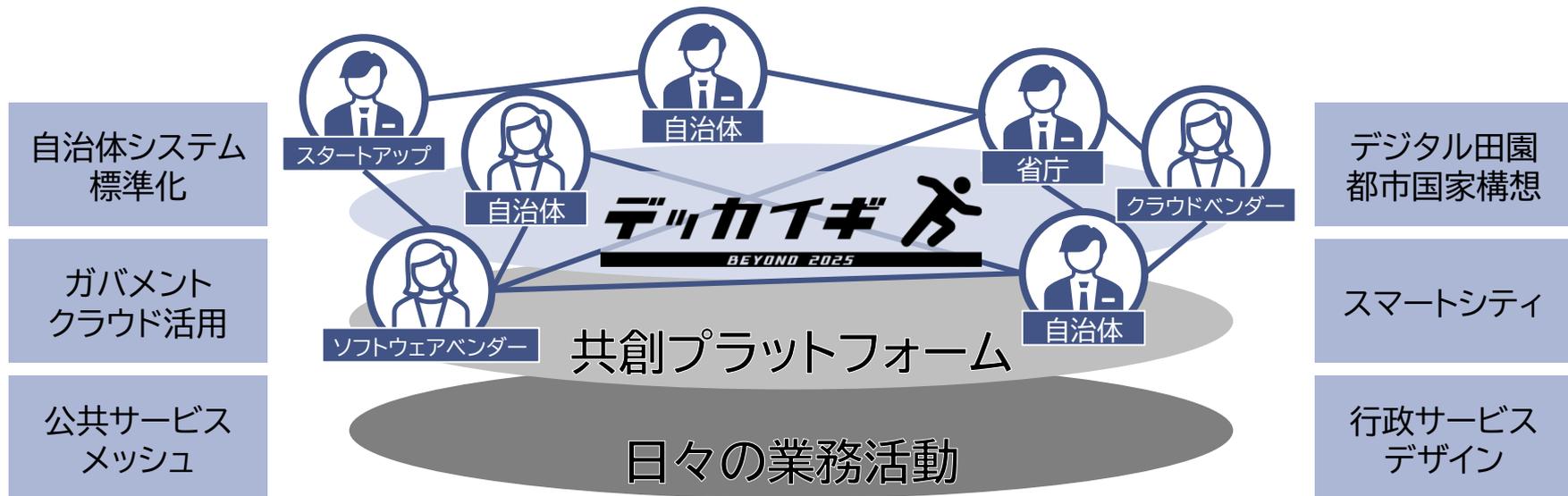
#	資料名	提供時期(目安)	資料の説明
1	協賛依頼書 (本資料)	2024年9月下旬～	<ul style="list-style-type: none"><li>各企業様に正式に協賛を依頼する際の資料です</li></ul>
2	参加案内	2024年10月下旬～11月	<ul style="list-style-type: none"><li>参加が確定した企業様に向けて、ブースやセッションの取り扱いを案内します</li></ul>

# デツカイギの説明

# 行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)企画趣旨



国と自治体による行政デジタル改革の取り組みには、多様なステークホルダーの連携が不可欠です。デジタル改革共創プラットフォーム等による連携を更に促進させるため、オフライン企画として本イベントを開催します。



- ・ 「デジタル改革共創プラットフォーム」の参加者にも呼び掛けて企画します
- ・ 自治体を中心とするステークホルダーが一堂に集まることで、より一層の連携促進を目指します

# 行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)開催概要



開催概要については、以下を予定しております。

イベント名	行政デジタル改革共創会議 in 羽田 ～お疲れさまです2025迎春～
日程	2025年1月10日(金)・1月11日(土)
会場	羽田イノベーションシティ内 コングレクスエア羽田およびPiO PARK (〒144-0041 東京都大田区羽田空港1丁目1-4)
参加者	行政デジタル改革に関わるもしくは興味のあるステークホルダー(公務員、民間、アカデミア等)、 協賛企業の社員、招待者
参加規模	約600名

本イベントは、行政デジタル改革に関する非営利のカンファレンスです

# 運営体制



運営体制については、以下を予定しております。

主催	行政デジタル改革共創会議実行委員会(デッカイギ実行委員会) 実行委員長 庄司 昌彦 (武蔵大学)  庄司先生を中心としたボランティア有志による実行委員会方式にて運営します 実行委員会の運営メンバーは現在調整中です
事務局	特定非営利活動法人 Digital Government Labs
後援・協力	開催地自治体として、大田区役所様にご協力いただいております
WEBサイト	<a href="https://www.dekaigi.org/">https://www.dekaigi.org/</a>

## 参考:今までの実績

2023年の第1回は262名、2024年の第2回は427名が参加し、主催者企画と公募企画を実施しました。  
(参加者には協賛企業とスタッフを含みます)

ご協賛いただいた企業の皆様に、改めて感謝申し上げます。

詳細はP27以降を  
ご覧ください

2023年  
1月6-7日  
開催

262名  
横須賀リサーチパーク



2024年  
1月5-6日  
開催

427名  
羽田イノベーションシティ  
(次回開催予定地)



参考:

<https://www.dgl.jp/posts/40728947>

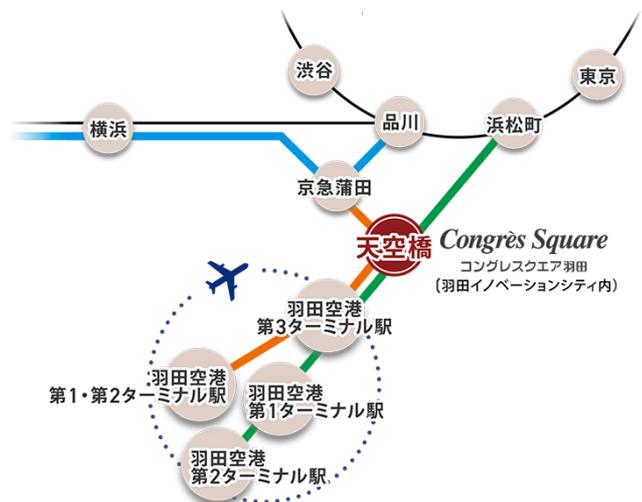
<https://www.dgl.jp/posts/53974918>

# 今年度会場の説明

# 羽田イノベーションシティ(HICity)アクセス



今回も昨年と同様、大田区役所様のご支援の元、羽田イノベーションシティにて開催します。



- JR線
  - 京浜急行電鉄本線
  - 京浜急行電鉄空港線
  - 東京モノレール羽田空港線
- 京浜急行電鉄空港線・東京モノレール 「天空橋」駅より徒歩 2分  
 【天空橋駅まで】 ..... 「品川」駅より 13分  
 ..... 「羽田空港 第3ターミナル」駅より 1分  
 ..... 首都高速1号羽田線「羽田IC」より 3分



# 羽田イノベーションシティ内の地図 (コングレスクエア羽田、Pio PARKの所在地)

昨年と同様、羽田イノベーションシティ内ゾーンJ 1Fにある「コングレスクエア羽田」およびゾーンK 2Fにある「PiO PARK(ピオパーク)」にて開催します。



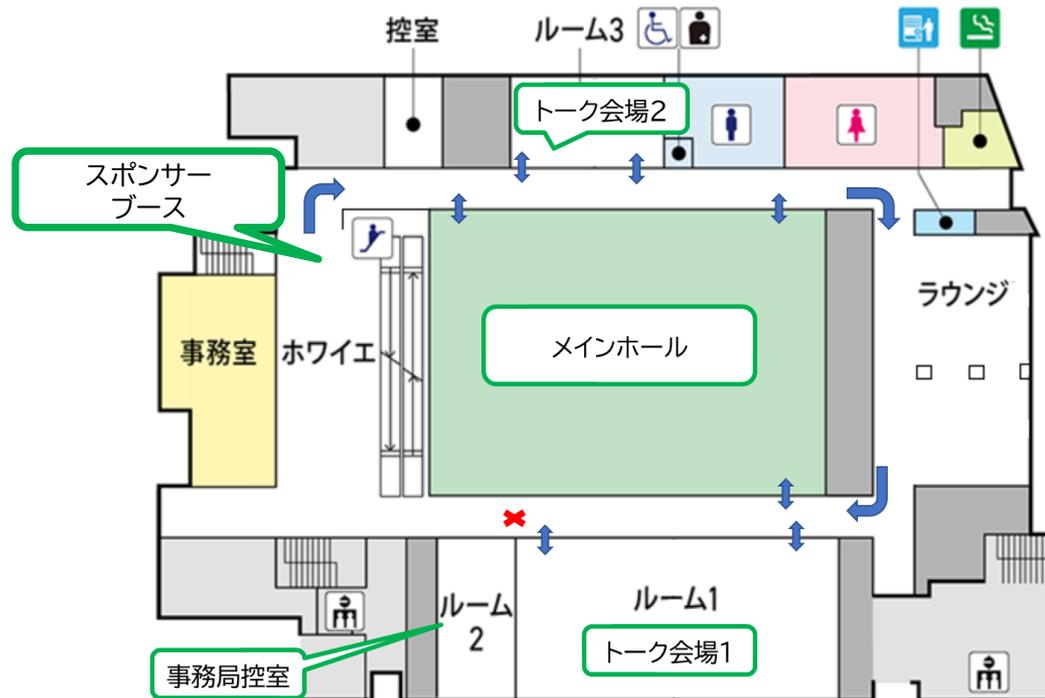
参考:<https://congres-square.jp/haneda/>

羽田イノベーションシティ メインホール

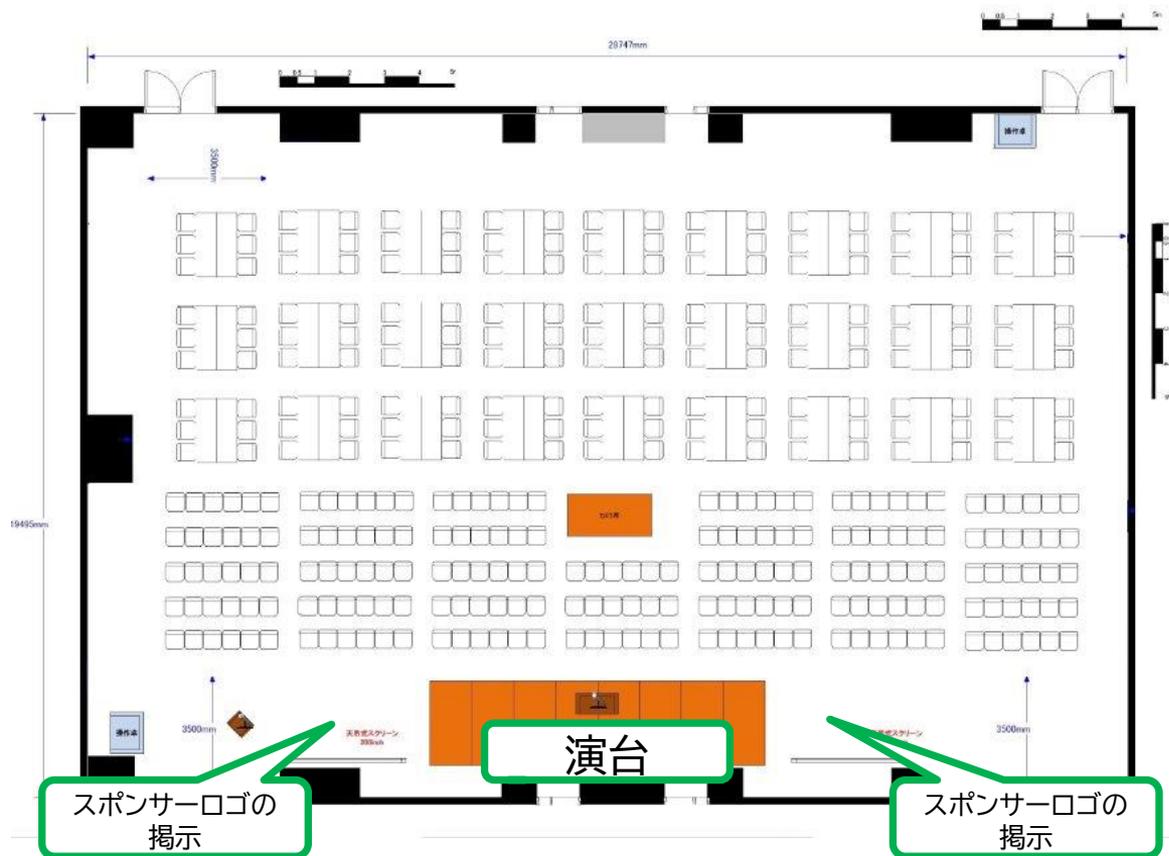
# コングレスクエア羽田の内部図面

コングレスクエア羽田は、最大360人を収容可能なメインホールと3つの会場を持ち、多くの集客と交流接点の創出を目指しています。

- メインホール(最大収容席数360席)  
全体集合イベント・キーノートセッションで利用するほか、複数の大規模セッションを実施する予定です。
- トーク会場1 (最大収容席数204席)  
講演やワークショップを行う会場です。
- トーク会場2 (最大収容席数55席)  
講演やワークショップを行う会場です。
- ホワイエ(検討中)  
スポンサーの展示ブースを参加者の動線の良いホワイエに設置予定です。参加者が必ず一度は通るような導線を設置し、また、ブースに立ち寄ることを求める企画を置くなどを検討しております。



# メインホール(調整中案)



スポンサー掲示ボード  
(左右に1つずつ)

プラチナ

プラチナ

ゴールド

ゴールド

ゴールド

ゴールド

ゴールド

ゴールド

シルバー一覽

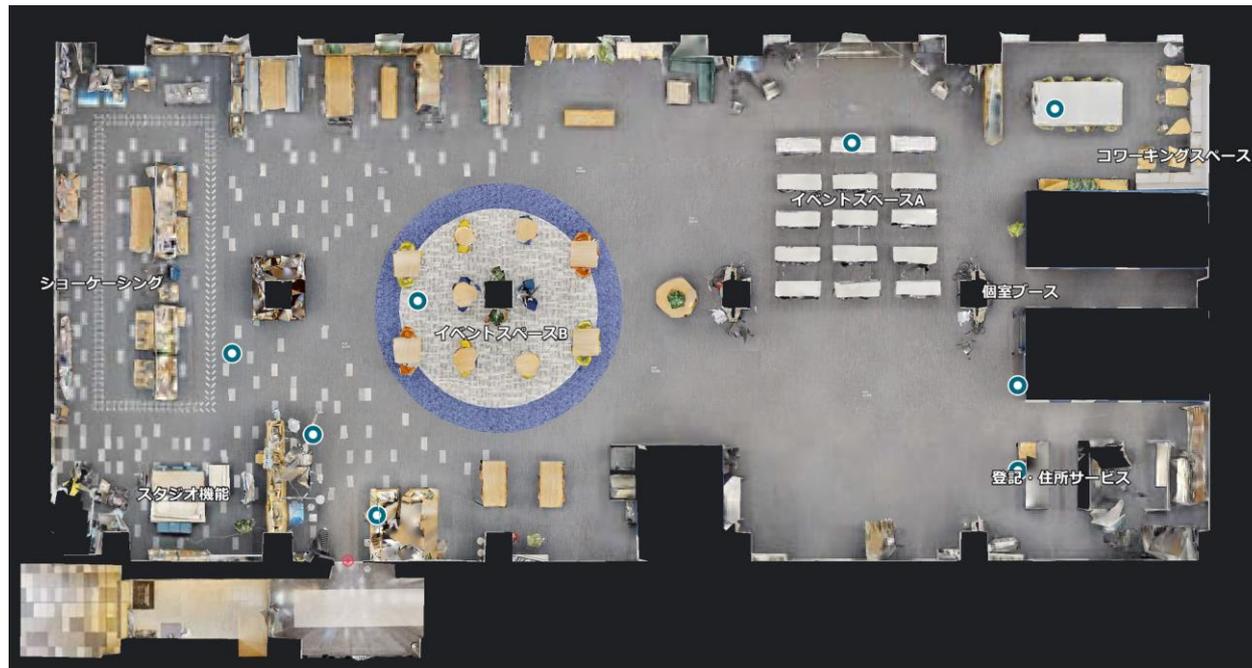
# PiO PARK(ピオパーク)の内部図面

「コングレスクエア羽田」と隣接する「PiO PARK」は、公益財団法人大田区産業振興協会が運営する施設です。こちらでは、ワークショップとコワーキングスペース拠点としての活用を見込んでいます。

- イベントスペース  
(最大収容人数70人)  
演台等を構えるイベントスペースです。  
公募企画で利用予定です。  
イベントスペースは1時間帯あたり  
1イベントの実施の予定です。

- その他  
他にも、オープン形式の会議スペース  
やコワーキングスペースがあります。

スポンサーセッション等で盛り上がった後、個別に会話を続ける際はぜひ  
ご活用ください。



参考①: <https://piopark.net/> (ピオパーク公式サイト)

参考②: <https://my.matterport.com/show/?m=BCMAyxKizzc> (会場のバーチャルデータ)

# 協賛プランの案内

## 昨年からの大きな変更点

第1回・第2回では、公務員以外としては、協賛企業様にのみご参加いただきました。本年は行政デジタルに携わる方・関心のある方どなたでも一般参加者として申し込みできるように変更します。  
企業の皆様には、行政デジタルに関わる多様なステークホルダーがフラットに参加できる場を提供するという本イベントの趣旨をご理解のうえ、協賛いただければ幸いです。

### 一般参加者枠(2024年9月時点の予定)

	参加者枠	参加費用
公務員	約300名	0円
公務員以外の方	約100名	0円

※ 左記以外に協賛企業の皆様、登壇者の皆様、スタッフとして参加する皆様がいる、あわせて約600名の予定です。

公務員は常勤公務員(再任用の方含む)のみとしております。民間企業の方が地方公共団体等の非常勤職員を兼務している場合には、公務員以外の方としてお申し込みください。  
公務員は原則「常勤職員、再任用職員、及び週20時間以上勤務する非常勤職員など各種共済組合の組合員」とします。詳細はウェブサイトをご覧ください。

また、協賛企業様は、上記の参加者枠とは別に、協賛プラン毎に設定された枠の上限まで参加者を出すことができます。その他の特典についての詳細は、次ページ以降をご確認ください。

# 協賛プランの概要説明

下記3種類の協賛プランをご用意しております。

	プラチナ 2団体まで	ゴールド 4団体まで	シルバー 10団体まで
現地への参加	10名まで	6名まで	1名まで
キーノートセッションへの参加	1枠※1	—	—
簡易展示ブース設置 (1コマブース)	有	有	—
資料配付 (参加者全員に配布するバッグに入れる)	有	有	—
聴講用URLの共有	有	有	有
ロゴ掲載等※2	有※3	有	有
協賛金	350万円(税別)	200万円(税別)	25万円(税別)

※1:キーノートセッションについてはデッカイギ実行委員会が企画します。セッションに協賛企業様が指定する1名の方に登壇いただくか、もしくはセッションに企業名を表示することができます。その他、企業の広告動画(3分程度)を流すこと等も検討しております。

※2:メインホールにロゴを掲載する場所を用意します。

※3:プラチナ企業については、休憩時間中にCMを流す等の露出を追加で用意します。

# キーノートセッションへの登壇(プラチナ限定)

今回は全員が参加するキーノートセッションをスポンサードする仕組みとさせていただきました。

ご説明	キーノートセッション例
<ul style="list-style-type: none"><li>• 全員参加のキーノートセッションを実施します。同時間帯に他のイベントはありません。</li><li>• このセッションを貴社のスポンサードと表示すること、もしくは、このキーノートセッションに貴社が指定する1名にご登壇いただくことのいずれかが可能です。</li><li>• 企画のテーマ及び内容は実行委員会で決定し、貴社にお知らせします。登壇者は貴社の方、あるいは貴社が指名する方のどちらでもけっこうです。</li><li>• スポンサーの表示については、セッションタイトルに「sponsored by XX」をいれた上で、セッションの開始・終了時に企業ロゴを掲出できます。</li><li>• ご希望があれば、セッションの終了後、貴社の作成した動画を3分程度流すことも可能です。</li></ul>	<p>2024年</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• キーノートセッション2024 衆議院議員・平将明先生と実行委員長の庄司昌彦の対談。</li><li>• なぜ火中の栗を拾ったの？ デジタル庁統括官、世田谷区副区長、掛川市副市長を招いたシンポジウム</li></ul> <p>2023年</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• キーノートセッション2023 小林史明元デジタル副大臣と自治体職員の対談</li></ul>

※1:セッション自体は実行委員会で企画等を行いますので、各企業様の宣伝を行う場を用意するわけではありません。

## 実行委員会への参加のご依頼(プラチナ、ゴールド限定)



テックイギの企画内容や会場のブース設営等について情報をタイムリーに共有するために、実行委員会の渉外部会に協賛企業様からリエゾンとして1名の参加をお願いします。渉外部会は実行委員会の中で企業協賛などを担当しております。(任意の依頼事項)

この渉外部会にご参加いただくことによって、協賛企業様にとってもよりよいテックイギにできるように実行委員会とのコミュニケーションの接点を設けることを目的とします。

なお、テックイギは実行委員会として決議をして進めておりますので、協賛企業様のご意向がすべて反映されるというわけではないことをご承知おき下さい。

協賛企業様のご協力によって、よりよいテックイギにできるよう、よろしくお願いいたします。

## 申込方法等(1/2)



協賛の申込方法等については、以下のとおりです。

申込方法	以下の申込フォームよりお申込ください。 折り返し事務局よりお手続きについてご案内いたします。
申込フォームURL	<a href="https://www.dekaigi.org/">https://www.dekaigi.org/</a> (デッカイギのイベントサイト内に申込フォームへのリンクを公開します)
申込期間	<b>2024年10月31日(木)13:00</b> ~ 2024年11月15日(金)22:00 (先着順とさせていただきます)
申込留意事項	行政デジタル改革に紐づくイベントのため、 請求書・領収書は原則PDF発行を予定しております。
その他 お問い合わせ先	その他お問い合わせは、以下メールアドレスまでご連絡ください。 shougai@dekaigi.org

## 申込方法等(2/2)

申込フォームの記載内容は次のとおりです。事前にご準備をお願いします。

- [会社名]貴社名をご記入ください。
- [協賛プラン]お申込みの協賛プランをご選択ください。(選択式)
- プラチナをご希望の方にお伺いします。キーノートセッションへの登壇とスポンサードの掲示、どちらを希望されますか？(選択式)
- プラチナまたはゴールドをご希望の方にお伺いします。簡易展示ブースの設置をご希望ですか？(選択式)
- プラチナをご希望の方にお伺いします。プラチナの先着から漏れた場合、ゴールドを希望されますか？(選択式)
- プラチナまたはゴールドをご希望の方にお伺いします。先着から漏れた場合、シルバーを希望されますか？(選択式)
- [連絡調整窓口]貴社協賛にあたって、連絡調整窓口となるご担当者様の氏名をご記入ください。
- [連絡調整窓口]連絡調整窓口となるご担当者様の部門名をご記入ください。
- [連絡調整窓口]連絡調整窓口となるご担当者様のメールアドレスをご記入ください。
- [連絡調整窓口]連絡調整窓口となるご担当者様の電話番号をご記入ください。
- [請求書・領収書]請求書・領収書上に記載する宛名をご記入ください。
- [請求書・領収書]請求書・領収書上に記載する費目・数量は以下で予定しております。  
「行政デジタル改革共創会議 2024年度 協賛金 XXXスポンサー枠 / 一式」
- その他、お申込みにあたってご相談事項がありましたらご記入ください。

企画、会場設営の参考とさせていただきます

# 手続きの流れ

手続きの流れについては、以下を予定しております。



## 協賛金関連のご案内に関する補足

- ・ 協賛ロゴのWEBサイト掲載については、協賛契約書の代わりに承諾書をご提出いただきます
- ・ 振込口座のご案内として、請求書をお送りいたします
- ・ 協賛金の振り込みを確認ののち、領収書をお送りいたします

# 災害等が発生した際の免責事項(案)

災害等により、イベントが予定どおり実施できなかった場合の免責事項としては、以下を検討しております。

## 想定するリスク

実行委員会に起因せずデッカイギの開催や集客が困難となるリスク  
(具体的には地震、天候不良、感染症拡大、テロ行為、交通機関の大規模停止等)

## 免責の取り扱い

- イベント中止時  
必要経費を精算した後、残金を返却する
- イベント延期時  
免責とする
- 開催方法変更時(リモート)  
免責とする

#	区分	質問	回答
1	協賛申込	協賛申込社数が定数を超えた場合はどうなるか。	協賛申込が定数を超えた場合は、申込フォームの先着順で受け付けます。  ただし、ブース設営が不要の企業様がいらっしゃった場合、定数は微増の可能性あります。
2	協賛申込	社内稟議中だが、事前に申し込むことは可能か。	貴社内で一定権限者の意向はあり、決裁稟議である場合は差し支えありません。 協賛申込後、改めて協賛依頼の手続一式を事務局より案内します。ご案内の中に含まれる、協賛承諾書を返送いただくまでに決裁の完了をお願いします。
3	参加者人数の定義	簡易展示ブースの担当要員も「現地への参加」の人数に含まれるか。	会場内部に簡易展示ブースを設営するため、現地への参加者の人数に含まれます。
4	プラチナ協賛企業の登壇者	自社の社員以外の方の登壇は可能か	協賛企業の方以外に登壇いただくことは差し支えありません。 メインセッションの企画テーマについては事前に周知させていただくため、それに沿った方を選定いただくと大変助かります。

#	区分	質問	回答
5	その他	懇親会や名刺交換会はあるか。	交流の場を多めに設定することを想定しており、名刺交換については積極的に行えるような企画を検討しております。
6	その他	簡易ブースへの導線はどうなっているか	簡易ブースに積極的に参加者が立ち寄るように、簡易ブースをまわることで特典を得られる企画等をセットする予定です。御協力もいただければ幸いです。
7	その他	参加者名簿を取得することは可能か。	営業を目的としたイベントではないため、参加者情報を一律提供することは会議の理念と相違するものと判断しております。 ぜひ、一般参加者の方と対話いただき、名刺交換とともに関係性構築を行ってください。
8	その他	シルバー枠の申込価値を教えてください。	今回は公務員以外の方も一般参加を可能としています。ただし枠は限られているため、確実に枠を確保できることが1つの価値となります。 また今回はメインホールにロゴの掲載場所を用意し、スポンサーの方がいるからデッカイギができていることを示す予定です。貴社がデッカイギ、及び行政デジタル改革に対して貢献したいと示すことができることが1つの価値と考えています。

#	区分	質問	回答
9	簡易展示ブース仕様	簡易展示ブースの仕様について知りたい。	机1台、椅子2脚、バックパネル(両面テープ使用)、電源を提供する予定です。参加者がよく通るホワイエに設置しますが、前回と比してスペースは狭くなることとなります。詳細は調整中です。

参考資料

# 行政デジタル改革共創会議 昨年度開催報告 (2024年1月5～6日開催)

行政デジタル改革共創会議

**デジタルイギ**  
火中の栗拾いツアー 2024

再 始 動



デジタルって  
おもったより  
しんどい

写真：日経BPガバメントテクノロジー 2022年春号 撮影：加藤 康

行政デジタル改革共創会議

**デッカイギ**  
火中の栗拾いツアー 2024

in 羽田 

2024.  
1.5 (FRI) - 1.6 (SAT)



<https://www.dekaigi.org/>

デッカイギ 

# 目次

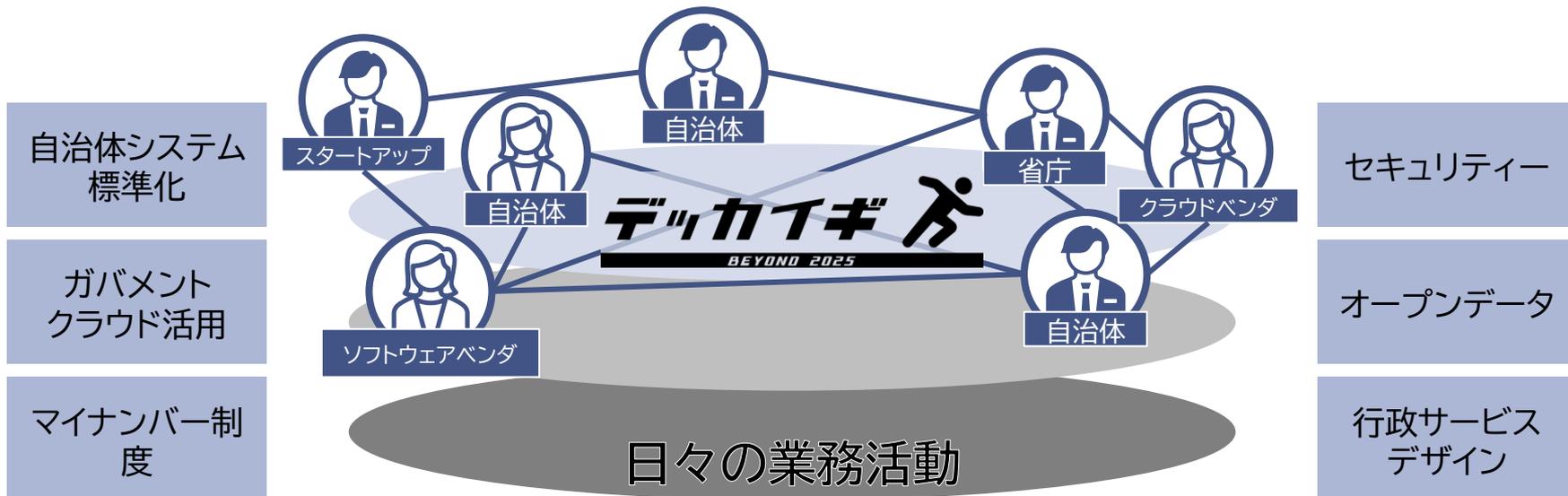
セクション	セクションタイトル
1	イベント概要
2	参加者数
3	参加者アンケート結果
4	プログラム報告

# 1. イベント概要

# 行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)企画趣旨



国、自治体、事業者など複数のステークホルダーが協働する行政デジタル改革は、相互信頼に基づく情報交換なしに進めることはできません。そこで、ステークホルダー相互の信頼醸成を図るため、情報共有や議論をする交流の場として本イベントを開催します。



「デジタル改革共創プラットフォーム」の参加者にも呼び掛けて開催します

# 行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)開催概要



開催概要は、以下の通りです。

イベント名	行政デジタル改革共創会議 in 羽田 ～火中の栗拾いツアー2024～ (略称:羽田デッカイギ)
日程	2024年1月5日(金)・1月6日(土)
会場	羽田イノベーションシティ内 コングレクスエア羽田およびPiOPARK (〒144-0041 東京都大田区羽田空港1丁目1-4)
主な参加者	基礎自治体・広域自治体・中央省庁の職員、協賛企業の社員、関係者
参加規模	約400名

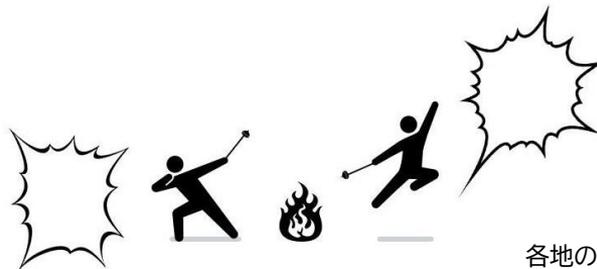
本イベントは、行政デジタル改革に関する非営利のカンファレンスです

# 今回のテーマ「火中の栗拾いツアー2024」について

## 火中の栗拾いツアー2024

迫りくる2025年度末に向けた自治体システム標準化、人口減少・少子高齢化が進む日本の自治体行政の危機を挙げた「2040年問題」、政府が進めるデジタル行財政改革など、行政デジタル改革を巡る様々な課題がある中で、強い問題意識のもと、住民のためや国のためといった公共の利益に資するために、「火中の栗を拾う人」たちが全国にたくさんいます。

「火中の栗を拾う」とは、自分の利益にならないのに、危険をおかすことや、危険を承知で、あえて問題の処理や責任ある立場を引き受けることのとえ。羽田デッカイギの参加者である、基礎自治体・広域自治体・中央省庁の職員、協賛企業の社員、関係者はみな、いままさに火中の栗を拾っている人、これから火中の栗を拾う人です。デッカイギ第2回目となる羽田デッカイギは、こうした、頭と口だけではなく自ら手足を動かし、山積する課題解決に向け火中の栗を拾う人たちのための場でありたいと、「火中の栗拾いツアー2024」をテーマとしました。



各地の公務員が火中の栗を拾う様子大喜利

# プログラム企画の種類

企画の種類は以下、企画者の区分は実行委員会による主催者企画、公務員から広く募る公務員公募企画、協賛企業によるスポンサー企画があります。プログラムはWebサイト(<https://program.dekaigi.org/>)からご確認ください。

## 講演・LT(エルティー/ライトニングトーク)



事例発表等、会場に集まった多人数を相手に特定の話題について話をします。

他にLT形式として、特定話題(窓口改善等)を複数人で5分ずつで短時間発表を行い、意見交換を行うものもあります。

## ワークショップ・ハンズオン

### 全員参加型



参加者全員で手を動かしながら、課題整理や体験調査を行う体験型の会議形式です。

単に学びを得るだけでなく、参加者同士の今後の交流につなげることができます。

## パネルディスカッション



数人の登壇者による特定テーマの討論もしくは対談を、参加者に聞いてもらいます。

テーマに沿って、登壇者が意見や立場を発表し、フロアの参加者を交えた意見交換を行います。

## BoF(ビーオーエフ/ボフ)

### 全員参加型



「類は友を呼ぶ」という英語版のことわざから来た会議形式です。特定議題について参加者を募り、車座形式で意見交換をします。

参加者限りの情報として制限をかけることで、失敗談や課題等、機微な情報に関する会話ができます。

## 協賛企業(1/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

### プラチナスポンサー(1/2)

RKKCS

 Bot Express

vmware®



Gcomホールディングス株式会社

## 協賛企業(2/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

### プラチナスポンサー(2/2)



## 協賛企業(3/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

### ゴールドスポンサー

Fast DOCTOR

servicenow®



FORTINET



box

## 協賛企業(4/4)

デッカイギの協賛企業は次のとおりです。

### シルバースポンサー



Orchestrating a brighter world



### シルバースポンサー(非営利)



# 運営体制

運営体制については、以下の通りです。

主催	行政デジタル改革共創会議実行委員会(デッカイギ実行委員会) 実行委員会 委員長 庄司 昌彦 (武蔵大学) 実行委員会 副委員長 江口 清貴(神奈川県庁)  ボランティア有志による実行委員会方式にて運営します
事務局	特定非営利活動法人 Digital Government Labs
後援	大田区
WEBサイト	<a href="https://www.dekaigi.org/">https://www.dekaigi.org/</a>

## 2.参加者数

## 参加者数

参加者数は次の通りです。2日間ののべ参加者数は427名でした。

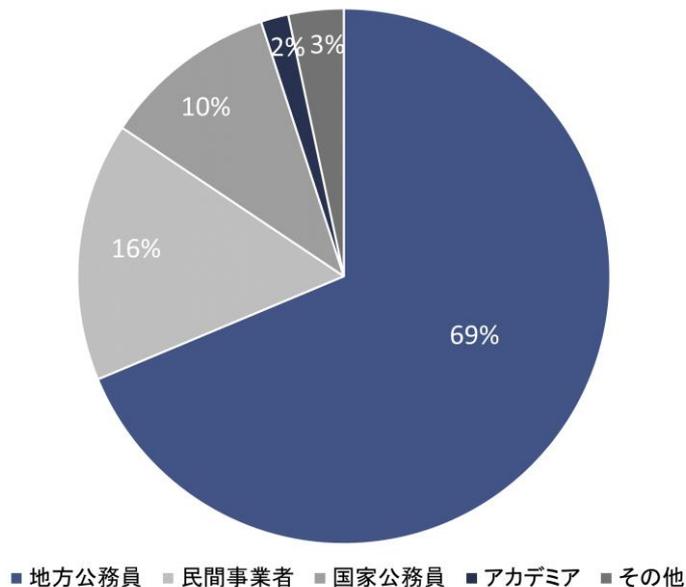
一般参加者	220名
関係者	60名
協賛企業	105名
スタッフ	34名
報道参加	8名

### 3. 参加者アンケート

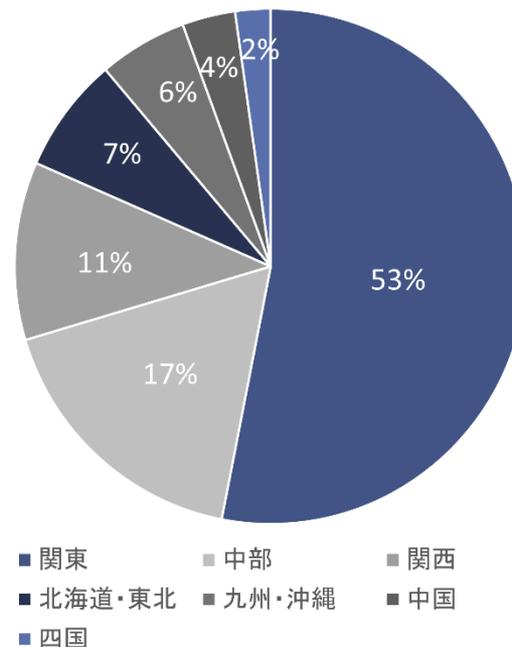
# 参加者アンケート結果

参加者(一般参加者、協賛企業、関係者、メディア等)のうち179名に回答いただきました。

### 職種(選択・必須)



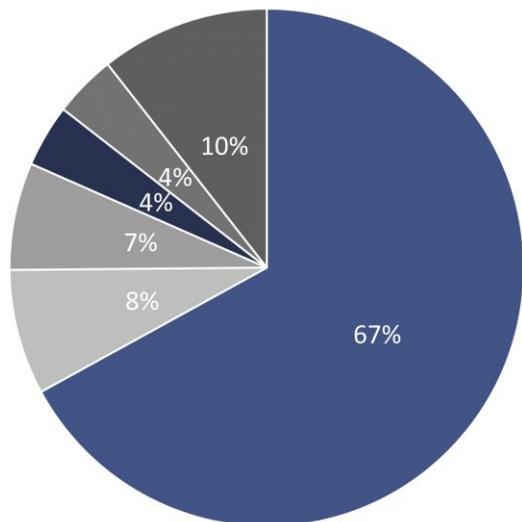
### 所属団体の地域または居住地(選択・必須)



# 参加者アンケート結果

(前頁続き)

担当部署(選択・必須)

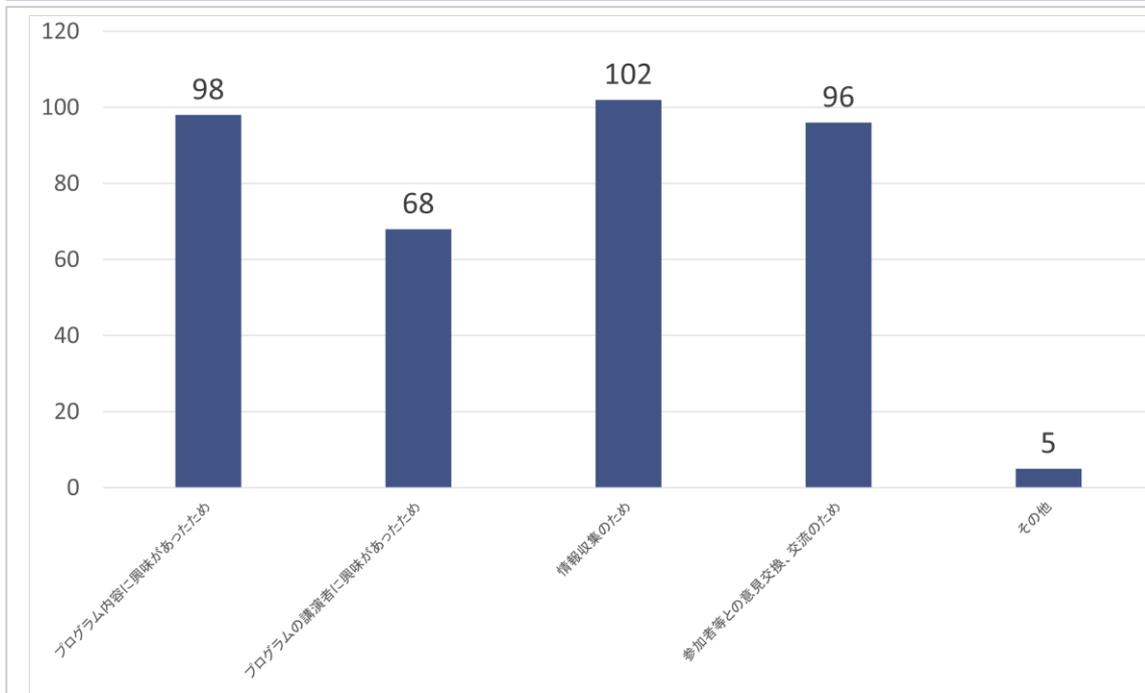


■ 情報・DX ■ 健康・福祉 ■ 企画・財政 ■ 総務・広報 ■ 住民・税 ■ その他

# 参加者アンケート結果

(前頁続き)

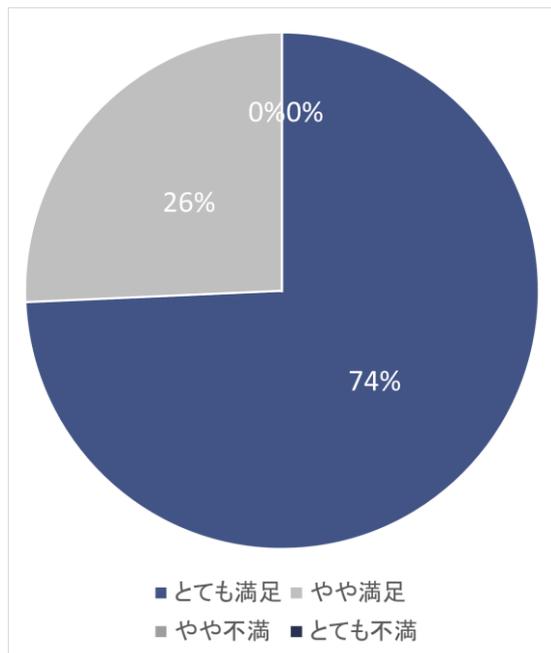
## 参加目的(複数選択・必須、自由記述)



# 参加者アンケート結果

(前頁続き)

## 総合的な満足度(選択・必須)

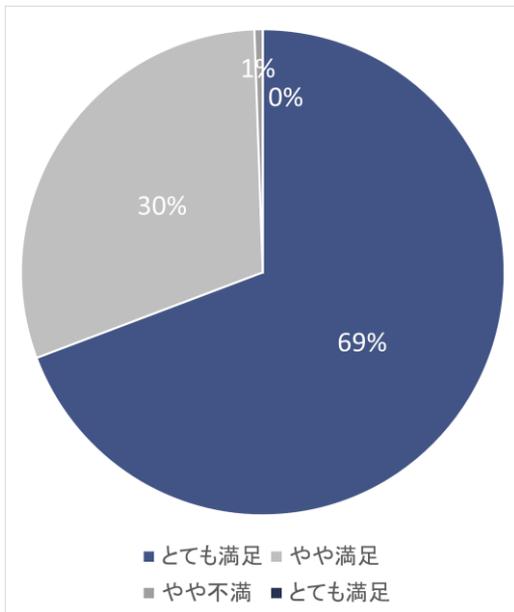


# 参加者アンケート結果

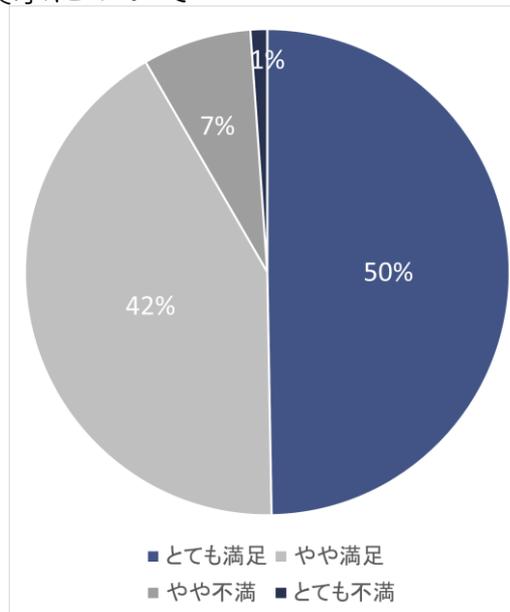
(前頁続き)

## 各項目の満足度①(選択・必須)

イベントのプログラム内容



企業展示について

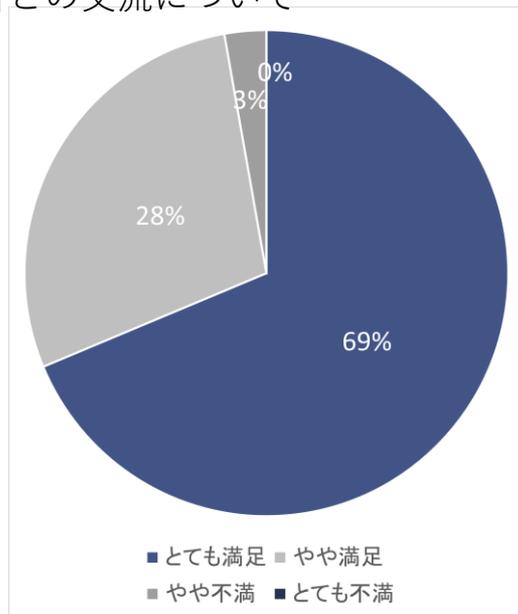


# 参加者アンケート結果

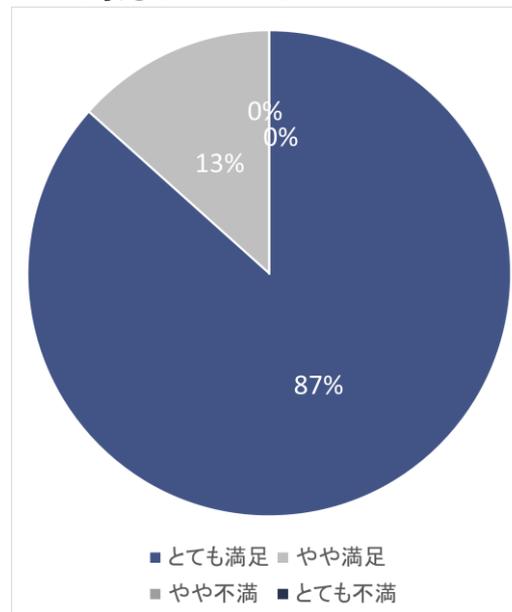
(前頁続き)

## 各項目の満足度②(選択・必須)

参加者との交流について



スタッフの対応について

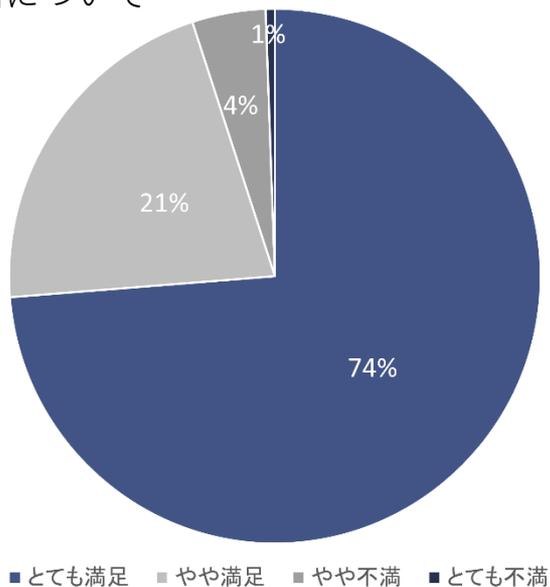


# 参加者アンケート結果

(前頁続き)

## 各項目の満足度③(選択・必須)

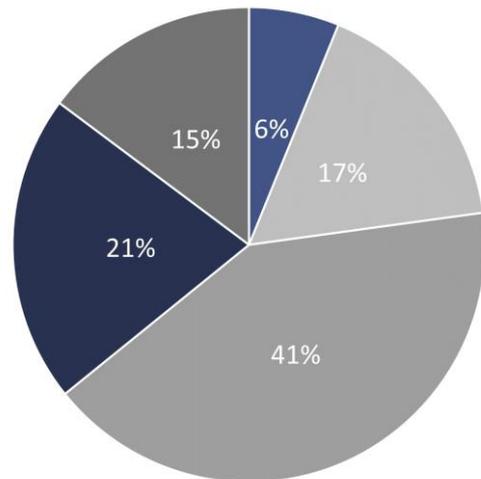
会場・会場設備について



# 参加者アンケート結果

(前頁続き)

参加費有料での開催の場合の参加希望額(選択・必須)



- 2万円 (2日間)
- 1万円 (2日間)
- 5千円 (2日間)
- 3千円 (2日間)
- 参加費有料なら参加しない